

# COMPASS 発達支援センター守口

令和5年度

## 事業所における自己評価結果（公表）

討議日：令和6年4月1日

公表日：令和6年5月2日

	チェック項目	はい		工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
		はい	いいえ		
環境・体制整備	1	5		国の定めた基準以上の広さを確保し、スペースは児童の特性に応じて適切に配置・利用しております。	余裕のある空間となっておりますが、今後も整理整頓に努め、過ごしやすい空間を作っていきます。
	2	5		国の定める配置基準では、事業所に児童発達管理責任者・管理者を1名以上配置、児童10名までに職員2名を配置、それ以上の児童が利用する際には、児童5名につき職員を1名ずつ増員するというものになっており、その基準を厳守しております。	今後も、適切な人員を配置・確保して運営してまいります。
	3	5		生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているが、また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	現在、車椅子等を利用する児童の在籍はなく、また、概ね事業所内は段差のない構造になっております。
	4	5		生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているが、また、児童たちの活動に合わせた空間となっている	今後も感染予防に気をつけながら、清潔で心地よい環境作りに努めます。
業務改善	5	5		その日の勤務職員が揃う時間に、業務連絡や療育内容の確認など話し合いの場を設けております。また月一回リフレクシオン会議を実施し、支援の改善点、療育の計画などすべての職員が情報を共有できるように回っております。	今後も職員全体での振り返りを日々行い、業務改善に努めます。
	6	5		保護者様向け評価表を活用するなどによりアンケート調査を実施して保護者様の意向等を把握し、業務改善につなげている	頂いた保護者様からのご意見を踏まえ、事業所のより良い運営に努めてまいります。
	7	5		事業所向け自己評価表及び保護者様向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	今後も公式 Web サイトで公開してまいります。
	8	5		第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	第三者による外部評価については今後の課題として検討してまいります。
適切な支援の提供	9	5		職員の資質の向上を確保している	今後も職員の資質向上のため、研修参加に努めてまいります。
	10	5		アセスメントを適切に行い、児童と保護者様のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	今後も、適切な手順をふみ、支援計画を作成してまいります。
	11	5		児童の適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	今後もアセスメントシートを活用し、保護者様のご意見を職員で共有していきます。
	12	5		児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもへの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	今後もガイドラインの基本を遵守し、さらにきめ細か一人ひとりに適した支援内容が設定できるよう取り組んでまいります。
	13	5		児童発達支援計画に沿った支援が行われている	今後も職員一同、情報共有と認識の一致をして、支援計画に基づいた支援をおこなってまいります。
	14	5		活動プログラムの立案をチームで行っている	今後も職員で話し合いを行い、さまざまな視点から立案していきます。
	15	5		活動プログラムが固定化しないよう工夫している	今後もその都度話し合いを実施し、季節の行事を取り入れ、変化ある活動を企画してまいります。
	16	5		児童の状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせることで児童発達支援計画を作成している	今後も同様に、適切な支援計画を作成してまいります。
	17	5		支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	今後も職員一同、打ち合わせを支援のための必要な時間であるとの認識のもと、情報共有を行い、認識の一致を図ってまいります。
	18	5		支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	今後も振り返り・情報共有を大事に日々実施してまいります。
関係機関や保護者様との連携	19	5		日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	経過記録は今後も主観を入れず、正確に記入しその都度振り返り活用してまいります。
	20	5		定期的なモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	今後も定期的なモニタリングを行い、必要な場合は時期にこだわらず、適宜見直しを行ってまいります。
	21	5		障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその児童の状況が精通した最もふさわしい者が参画している	今後も関係機関との連携を継続し、児童発達管理責任者を軸に、職員が参画してまいります。
	22	5		母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	今後も関係機関との連携を大切に、支援を行ってまいります。
	23	5		（医療的ケアが必要な児童や重症心身障がいのある児童等を支援している場合）地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	事業所は重症心身障害以外の児童が対象となっており、今後も受け入れ希望があった場合は、慎重に検討し、受け入れ体制・事業所のあり方について模索してまいります。
	24	5		（医療的ケアが必要な児童や重症心身障がいのある児童等を支援している場合）児童の主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	事業所は重症心身障害以外の児童が対象となっていることもあり、今後も受け入れ希望があった場合は、慎重に検討し、受け入れ体制・事業所のあり方について模索してまいります。
	25	5		移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚園）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	今後も、関係機関との連携を大切に、支援内容等情報共有と相互理解に努めてまいります。
	26	5		移行支援として、小学校や特別支援学校（小・中学校）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	今後は保護者様や関係機関と連携し、情報共有と相互理解に努めていきます。
	27	5		他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	コロナ禍では、なかなか機会を得難いですが、今後研修や交流等でさらなる関係を深めてまいります。
	28	5		保育所や認定こども園、幼稚園等との交流などの外部の児童と活動する機会がある	保護者様のご意見も伺いたうえ、機会があれば交流をさせていただきたいと思ます。
保護者様への説明責任等	29	5		（自立支援）協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	機会があれば、参加させていただきたいと思ます。
	30	5		日頃から児童の状況を保護者様と伝え合い、児童の発達状況や課題について共通理解を持っている	引き続き機会を逃さず情報共有を回り、保護者様との信頼関係を大切にしております。
	31	5		保護者様の対応力の向上を図る観点から、保護者様に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っている	家庭連携の機会にお話しいただく機会も増え、ご一、今後もご相談について丁寧な対応し、ご一緒に解決していくことができるよう努めてまいります。
	32	5		運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	契約時のみならず、ご質問や再度説明のご要望があればいつでも対応させていただきます。
	33	5		児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のこれに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者様から児童発達支援計画の同意を得ている	今後も引き続き、保護者様のご意向や児童一人ひとりの状況に応じた支援計画を作成し、丁寧な説明を心がけてまいります。
	34	5		定期的な、保護者様からの子どもへの悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	今後は連絡帳や送迎時だけでなく、保護者様と訪問による日程を調整し、ご来所いただいたり、事前にお電話にて面談等をおこなえるよう努めてまいります。
	35	5		父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催したりするなどにより、保護者様同士の連携を支援している	保護者様のご意見を伺いながら開催の準備をしていきます。
	36	5		子どもや保護者様からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、児童や保護者様に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	今後は保護者様からのご意見には、積極的に耳を傾け、迅速丁寧な対応に努め、ご相談しやすい環境づくりを心がけ、連携を取ることができるよう努めてまいります。
	37	5		定期的な会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を児童や保護者様に対して発信している	毎月の事業所だよりや定期的に COMPASS だよりを発行してまいります。また、SNS 公式 Web サイトのブログで情報を発信してまいります。
	38	5		個人情報の取扱いに十分注意している	個人情報は鍵付き書庫にて保管しております。また、社内で研修を受け、個人情報の取り扱いについて職員間で共通認識をもってまいります。
非常時等の対応	39	5		障がいのある児童や保護者様との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	今後も児童の特性に配慮し、保護者様へもさらに丁寧な説明を心がけ情報伝達と意思疎通できるよう、手段を選択してまいります。
	40	5		事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	新型コロナウイルスの感染予防、個人情報の保護の観点から地域交流は控えさせていただいております。
	41	5		緊急時対応マニュアル、防災マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者様に周知するとともに発生を想定した訓練を実施している	各種マニュアルは壁面に掲示して、保護者様にご覧いただけるようにしています。また、定期的に児童とともに避難訓練を実施しております。
	42	5		非常災害の発生に備え、定期的な避難、救出その他必要な訓練を行っている	避難訓練は、年間計画を立てて児童も参加して定期的に実施しております。事業所だよりで、前月に実施予定日をお知らせし、訓練の様子は次の月の事業所だよりを通じて紹介しております。
	43	5		事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の児童の状況を確認している	標準化されたアセスメントツールを使用し、状況の把握に努めております。また連絡帳などを通して状況の変化も確認させていただきます。
	44	5		食物アレルギーのある児童について、医師の指示書に基づく対応がされている	指示書がある児童については保護者様と情報共有をおこない、各児童のアレルギーに関しては一覧表を作成して全職員に周知しております。
	45	5		ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	ヒヤリハット報告を徹底し、紙面に残して回覧し、周知ミーティングを行いながら再発防止につなげてまいります。
	46	6		虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	事業所に虐待防止責任者を選定し、事業所内研修や外部研修に参加し、認識を深めてまいります。
	47	5		どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、児童や保護者様に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	今後も原則として身体拘束を行わない基本姿勢を守り、まずは沈静化できるよう、いろいろなパターンに合わせた声かけや、気分の切り替えを促せるよう努めてまいります。必要な場合は保護者様に十分説明をおこない、同意を得て、個別支援計画に記載するようにしてまいります。

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。